

Ⅲ 選択的評価事項の自己評価等

選択的評価事項A 研究活動の状況

<p><b>評価の視点</b></p> <p><b>A-1 高等専門学校の研究活動の目的等に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究活動の目的に沿った成果が得られていること。</b></p>	
<p>観点A-1-① 研究活動に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(設)第2条第2項</p>
<p>【留意点】なし。</p>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>(1) 研究活動に関する目的、基本方針、目標等を適切に定めているか。</p> <p>□定めている</p> <p>■定めていない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◇定めていることがわかる資料</p> <p><a href="#">資料 A-1-1-(1)-01</a> 研究活動に関する目的、基本方針、目標等を適切に定めていることがわかる資料</p> <p>出典「令和元年度6月教員会議資料」</p> <p>※ 6月の教員会議で実施された校長講話（3回目）にて、高専教員における研究の目的等について示している（<a href="#">資料 A-1-1-(1)-01</a>）。</p>
<p>観点A-1-② 研究活動の目的等に照らして、研究体制及び支援体制が適切に整備され、機能しているか。</p>	
<p>【留意点】</p> <p>○ 観点A-1-①の研究活動に関する目的、基本方針、目標等を達成するための、実施体制、設備等を含む研究体制及び支援体制の整備状況・活動状況について分析すること。</p> <p>○ 実施体制の整備については、研究に携わる教員等の配置状況、センター等設置状況を示すこと。</p> <p>○ 研究活動状況については、共同研究等、他研究機関や地域社会との連携体制及びその機能状況等の具体例を示すこと。</p>	
<p>関係法令</p>	<p>(設)第2条</p>
<p>観点の自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄（該当する口欄をチェック■）</p> <p>(1) 学校が設定した研究活動の目的等を達成するための実施体制を整備しているか。</p> <p>■整備している</p> <p>□整備していない</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p> <p>◇目的等ごとに、実施体制が整備されていることがわかる資料</p> <p><a href="#">資料 A-1-2-(1)-01</a> 研究活動の目的を達成するための実施体制がわかる資料1</p> <p>出典「福井工業高等専門学校研究推進委員会規則」</p> <p><a href="#">資料 A-1-2-(1)-02</a> 研究活動の目的を達成するための実施体制がわかる資料2</p> <p>出典「福井工業高等専門学校知的財産委員会規則」</p> <p><a href="#">資料 A-1-2-(1)-03</a> 研究活動の目的を達成するための実施体制がわかる資料3</p> <p>出典「福井工業高等専門学校地域連携テクノセンター規則」</p> <p><a href="#">資料 A-1-2-(1)-04</a> 研究活動の目的を達成するための実施体制がわかる資料4</p>

	<p>制がわかる資料 4</p> <p>出典「学習総まとめ科目：特別研究テーマ（令和元年度第 4 回専攻科委員会資料）」</p> <p>※ 福井高専における研究の目的（資料 A-1-1-(1)-01）を達成するため、研究推進委員会が中心となり、学内における研究推進体制を整えている（資料 A-1-2-(1)-01）。研究を進めるうえで必要となる知的財産権については、知的財産委員会が取り扱っている（資料 A-1-2-(1)-02）。地域と連携した研究活動については、地域連携テクノセンターが窓口となり、規則（資料 A-1-2-(1)-03）に基づいて研究支援がなされている。</p> <p>また、教員の研究活動については、教員の専門分野により専攻科の特別研究を指導するため、教員の研究テーマと特別研究テーマが一致しており、専攻科学生の研究指導が教員の研究活動推進に直結している（資料 A-1-2-(1)-04）</p>
<p>(2) 学校が設定した研究活動の目的等を達成するための設備等を含む研究体制を整備しているか。</p> <p>■ 整備している □ 整備していない</p>	<p>◇目的等ごとに、研究体制が整備されていることがわかる資料</p> <p>資料 A-1-2-(2)-01 研究体制が整備されていることのわかる資料 1</p> <p>出典「研究コーディネーターの設置（JOINT2019）」 <a href="https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/JOINT2019.pdf">https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/JOINT2019.pdf</a></p> <p>資料 A-1-2-(2)-02 研究体制が整備されていることのわかる資料 2</p> <p>出典「福井高専 共同研究設備（JOINT2019）」 <a href="https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/JOINT2019.pdf">https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/JOINT2019.pdf</a></p> <p>資料 A-1-2-(2)-03 研究体制が整備されていることのわかる資料 3</p> <p>出典「福井高専ラボガイド（抜粋）」</p> <p>※ 地域と連携した共同研究を促進するために、地域連携を担当するコーディネーター2名を配置している（資料 A-1-2-(2)-01）。また、地域連携テクノセンターが保有する共同利用設備及び教員が管理する研究設備については、適時更新を行いながら、地域連携テクノセンター活動紹介誌 JOINT（資料 A-1-2-(2)-02）及び福井高専ラボガイド（資料 A-1-2-(2)-03）で紹介し、これを公開することで共同研究につなげている。</p>
<p>(3) 学校が設定した研究活動の目的等を達成するための支援体制を整備しているか。</p> <p>■ 整備している □ 整備していない</p>	<p>◇目的等ごとに、支援体制が整備されていることがわかる資料</p> <p>資料 A-1-2-(3)-01 研究費の支援がわかる資料</p> <p>出典「平成 30 年度校長裁量経費配分状況（総務課資料）」</p> <p>資料 A-1-2-(3)-02 研究費獲得への支援がわかる資料</p> <p>出典「科研費セミナーに関する資料」</p> <p>資料 A-1-2-(3)-03 地域企業との共同研究への支援体制がわ</p>

	<p>かる資料 1 出典「福井高専アカデミアに関する資料 (JOINT2019)」 <a href="https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/JOINT2019.pdf">https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/JOINT2019.pdf</a> <a href="#">資料 A-1-2-(3)-04</a> 地域企業との共同研究への支援体制がわかる資料 2 出典「JOINT フォーラムに関する資料」 <a href="https://www.fukui-nct.ac.jp/arc/16587/">https://www.fukui-nct.ac.jp/arc/16587/</a> <a href="#">資料 A-1-2-(3)-05</a> 地域企業との共同研究への支援体制がわかる資料 3 出典「地域企業との交流会に関する資料」 <a href="https://www.fukui-nct.ac.jp/arc/16363/">https://www.fukui-nct.ac.jp/arc/16363/</a> <a href="#">資料 A-1-2-(3)-06</a> 地域企業との共同研究への支援の成果がわかる資料 4 出典「交流会から共同研究へ展開した資料」</p> <p>※ 本校の研究支援として、校長裁量経費から研究費等の補助が行われているほか、外部資金獲得のため、外部講師または学内の科研費獲得者によるセミナーが実施されている (<a href="#">資料 A-1-2-(3)-01</a>、<a href="#">資料 A-1-2-(3)-02</a>)</p> <p>本校の教育研究を側面から支援する組織として、県内企業で構成される福井高専アカデミアがあり、平成 31 年度 5 月現在の会員数は 76 社となっている (<a href="#">資料 A-1-2-(3)-03</a>)。本校とアカデミア会員企業との連携を深めるために JOINT フォーラム (<a href="#">資料 A-1-2-(3)-04</a>) が毎年 1 回実施され、その他に会員企業への見学会や交流会なども行われている (<a href="#">資料 A-1-2-(3)-05</a>、<a href="#">資料 A-1-2-(3)-06</a>)。交流会をきっかけとして共同研究につながった事例 (<a href="#">資料 A-1-2-(3)-06</a>) もある。</p>
<p>(4) (1)～(3)の体制の下、研究活動が十分に行われているか。 ■行われている □行われていない</p>	<p>◇研究活動の実施状況がわかる資料 <a href="#">資料 A-1-2-(4)-01</a> 教員の研究状況がわかる資料 1 出典「教員研究テーマ一覧 (学校要覧)」 <a href="https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2018/07/yoran2018.pdf">https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2018/07/yoran2018.pdf</a> <a href="#">資料 A-1-2-(4)-02</a> 教員の研究状況がわかる資料 2 出典「研究活動調査結果 (令和元年度 6 月研究推進委員会資料)」 <a href="#">資料 A-1-2-(4)-03</a> 教員の研究状況がわかる資料 3 出典「JOINT 2019 (研究シーズ集)」 <a href="https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/JOINT2019.pdf">https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/JOINT2019.pdf</a> <a href="#">資料 A-1-2-(4)-04</a> 教員の研究状況がわかる資料 4 出典「科学研究費採択状況 (令和元年度 6 月学校運営会議資料)」</p> <p>※ <a href="#">資料 A-1-2-(4)-01</a> は、各教員の研究テーマ一覧であり、これらの研究業績については、年度当初に実施される研究活</p>

	<p>動調査結果 (資料 A-1-2-(4)-02)、研究シーズ (資料 A-1-2-(4)-03) および科学研究費採択状況 (資料 A-1-2-(4)-04) を研究推進委員会 (資料 A-1-2-(1)-01) で把握し、研究活動の推進策を検討している。</p>
<p>観点 A-1-③ 研究活動の目的等に沿った成果が得られているか。</p>	
<p><b>【留意点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究活動の目的等に照らして、どの程度活動の成果があげられているか、目的の達成度について実績等を示すデータ等を提示すること。</li> <li>○ 目的が複数ある場合は、それぞれの目的ごとに、目的に照らした研究の成果及び目的の達成度について資料を提示すること。</li> </ul>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 学校が設定した研究活動の目的等に照らして、成果が得られているか。</p> <p>■得られている</p> <p>□得られていない</p>	<p>◇目的等ごとに、活動の成果がわかる資料</p> <p>(再掲) 資料 A-1-2-(4)-02 教員の研究状況がわかる資料 2 出典「研究活動調査結果 (研究推進委員会資料)」</p> <p>(再掲) 資料 A-1-2-(4)-03 教員の研究状況がわかる資料 3 出典「研究シーズ集 (JOINT 2019)」</p> <p><a href="https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/JOINT2019.pdf">https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/06/JOINT2019.pdf</a></p> <p>資料 A-1-3-(1)-01 共同研究の成果がわかる資料 出典「共同研究一覧及び受託研究数 (学校要覧)」</p> <p><a href="https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2018/07/yoran2018.pdf">https://www.fukui-nct.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2018/07/yoran2018.pdf</a></p> <p>資料 A-1-3-(1)-02 学内プロジェクトチームの研究活動の成果がわかる資料 出典「学内農工連携チームの活動実績」</p> <p>資料 A-1-3-(1)-03 教育による研究成果のわかる資料 出典「専攻科学生による学会発表件数」</p>
<p>観点 A-1-④ 研究活動等の実施状況や問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。</p>	
<p><b>【留意点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 組織の役割、人的規模・バランス、組織間の連携・意思決定プロセス・責任の明確化等がわかる資料を提示すること。</li> <li>○ 具体的な改善事例については、活動状況とともに効果や成果について示すこと。</li> <li>○ 研究活動等の実施状況や問題点を把握しているものの、現状では改善を要する状況にない場合には、問題が生じた際に対応できる体制の整備状況について資料を提示すること。</li> </ul>	
<p>観点の自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p>	
<p>以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。</p> <p>■満たしていると判断する</p> <p>□満たしていると判断しない</p>	
<p>自己点検・評価結果欄 (該当する口欄をチェック■)</p>	<p>自己点検・評価の根拠資料・説明等欄</p>
<p>(1) 観点 A-1-③ で把握した成果を基に問題点等を</p>	<p>◇改善の体制がわかる資料</p>

<p>把握し、それを改善に結び付けるための体制を整備しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 整備している</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 整備していない</p>	<p>(再掲) <a href="#">資料 A-1-2-(1)-01</a> 研究活動の目的を達成するための実施体制がわかる資料 1</p> <p>出典「福井工業高等専門学校研究推進委員会規則」</p> <p><a href="#">資料 A-1-4-(1)-01</a> 研究環境の改善の体制がわかる資料</p> <p>出典「科研費獲得ワーキングチームについて (令和元年度 6 月研究推進委員会 資料)」</p> <p>◆学校が設定した研究活動の目的等の項目に対応させた具体的な改善事例があれば、具体的な内容について、資料を基に記述する。</p> <p>科研費の採択率向上のために、科研費獲得ワーキングチームの立ち上げ (<a href="#">資料 A-1-4-(1)-01</a>)、外部講師による科研費セミナー (<a href="#">資料 A-1-2-(3)-02</a>) を実施し、改善を図っている。</p> <p>学内の人材育成面では、共同研究推進の一環として学内農工連携チームの活動 (<a href="#">資料 A-1-3-(1)-02</a>)、研究コーディネーターによる企業とのマッチング推進 (<a href="#">資料 A-1-2-(3)-06</a>)、若手教員への研究支援および企業との共同研究の促進のために校長裁量経費 (<a href="#">資料 A-1-2-(3)-01</a>) を充て、研究活動を推進している。</p>
<p><b>A-1 特記事項</b> この評価の視点の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。</p>	
<p>該当なし</p>	

<p><b>選択的評価事項 A 目的の達成状況の判断</b></p> <p><input type="checkbox"/> 目的の達成状況が非常に優れている</p> <p><input type="checkbox"/> 目的の達成状況が良好である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目的の達成状況がおおむね良好である</p> <p><input type="checkbox"/> 目的の達成状況が不十分である</p>
---

<p><b>選択的評価事項 A</b></p>
<p><b>優れた点</b></p> <p>本校の研究推進体制および支援体制は、研究推進委員会が中心となっているが、地域連携テクノセンターと地域連携アカデミアの果たす役割は大きい。これらの組織が関わる研究推進体制および支援隊のもとで、具体的な研究内容に踏み込んだ技術相談、さらに発展した共同研究等に結びついた研究が多数ある。また、外部資金の獲得、学科横断的研究組織による取り組み、企業との共同研究の増加など、産官学連携事業で多くの成果をあげており、産学連携事業に係る研究の推進により、教員研究の活性化を図っている。</p>
<p><b>改善を要する点</b></p> <p>該当なし</p>